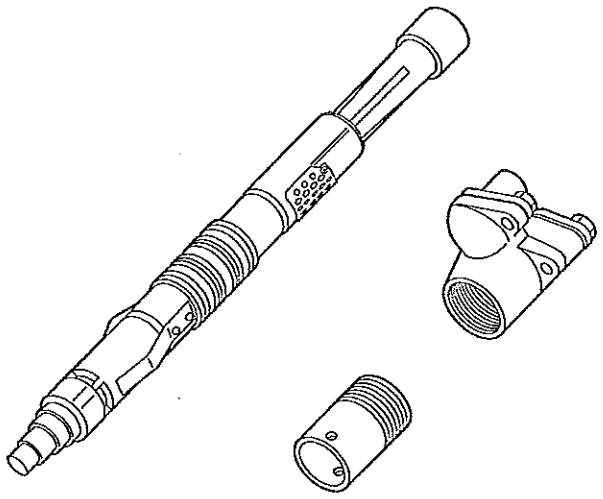
No. 87410010
保管用

大切な「水」をあなたへ……川本ポンプ

シングルジェット
(家庭用ジェットポンプ専用)

深井戸用シングルジェット
KJ2-18S-25形
KJ2-24S-40形



KJ001

取扱説明書

このたびは、深井戸用シングルジェットをお買上げいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

目　次

はじめに
安全上のご注意……2
はじめにご確認ください……2
使用できる環境・条件……3
製品仕様……3
各部の名前……3

据付・配管について
据付・配管のしかた……3
1 補助ピースの取り付け……4
2 吸入管の形成……5
3 ジェット部の挿入……5
4 ポンプへの接続……6
試運転……7

はじめに

安全上のご注意

本書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための注意事項が記載されております。
また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の２つに区分しています。
いずれも安全に関する重要な事項ですので、必ず守ってください。

「警告」、「注意」が示す危険度の内容

⚠警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
⚠注意	人が傷害を負う可能性および物的損害が想定される内容。

絵表示の意味

△ 気をつけなければならない内容を表しています。たとえば⚠は「感電注意」を示しています。

⃠ してはいけない行為を表しています。たとえば🚫は「分解禁止」を示しています。

● 必ずしなければならない行為を表しています。たとえば❗は「強制」を意味し、🔌は「電源プラグを抜くこと」を示しています。

⚠注意

製品仕様について

決められた製品仕様以外では使用しないでください。揚水不能などの原因になります。

据付、配管について

配管工事は取扱説明書に従って確実に行なってください。揚水不能などの原因になります。

点検、修理について

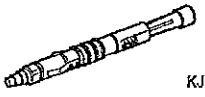
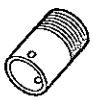
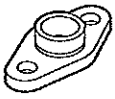
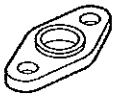
お手入れの際は、必ず電源を遮断して電気がきていないことを確認してください。感電やけがをする恐れがあります。

修理技術者以外の人は、分解したり修理や改造を行わないでください。修理に不備があると、感電や火災、漏水などの原因になります。

はじめにご確認ください

製品がお手元に届きましたら、下記項目を調べ、不具合な点がございましたら、お手数でもご購入先へご連絡ください。

- ご注文どおりの製品か、銘板を見てご確認ください。
- 輸送中に破損した箇所はないか、ご確認ください。
- 包装箱の中に次の内容物がすべて入っているか、ご確認ください。

シングルジェット	補助ピース	アダプター	パッキン	アソビフランジ
 KJ002	 KJ003	KJ004	KJ005	KJ006
アダプター部 圧力フランジ	Oリング	サブフランジ	ボルト（フランジ取付用）	取扱説明書
 KJ007	KJ008	 KJ009	KJ010	KJ011

使用できる環境・条件

⚠注意

井戸ケーシングは水道用硬質塩化ビニール管（VP）または配管用炭素鋼鋼管（SGP）をご使用ください。VU 管は、内径が太いため使用できません。

ポンプを最良の状態でお使いいただくため下表の組み合わせになっているかお確かめください。

シングルジェット形式	適用ポンプ形式	吸い上げ高さ	井戸ケーシング径
KJ2-18S-25	JF250S	6m～18m	50mm(2B)
KJ2-24S-40	JF400S／JF400T	12m～24m	50mm(2B)

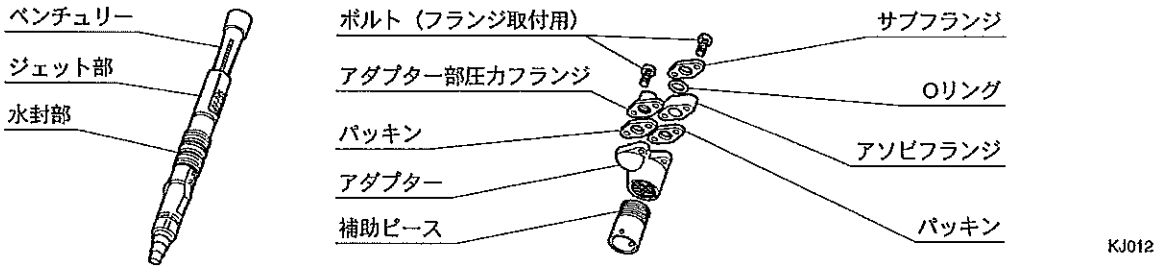
製品仕様

⚠注意

禁止　決められた製品仕様以外では使用しないでください。揚水不能などの原因になります。

液　質	液質、液温	清水、pH. 5.8～8.6、0～30℃
	塩素イオン濃度	200mg／L以下
含有固形物の濃度、大きさ		50mg／L以下、大きさは細砂(0.1～0.25mm)

各部の名前



据付・配管について

本製品の設置については専門工事が必要です。この「据付・配管について」をよく読み内容を理解されたうえで作業してください。また、据付・配管はお客様自身で行なわないでください。

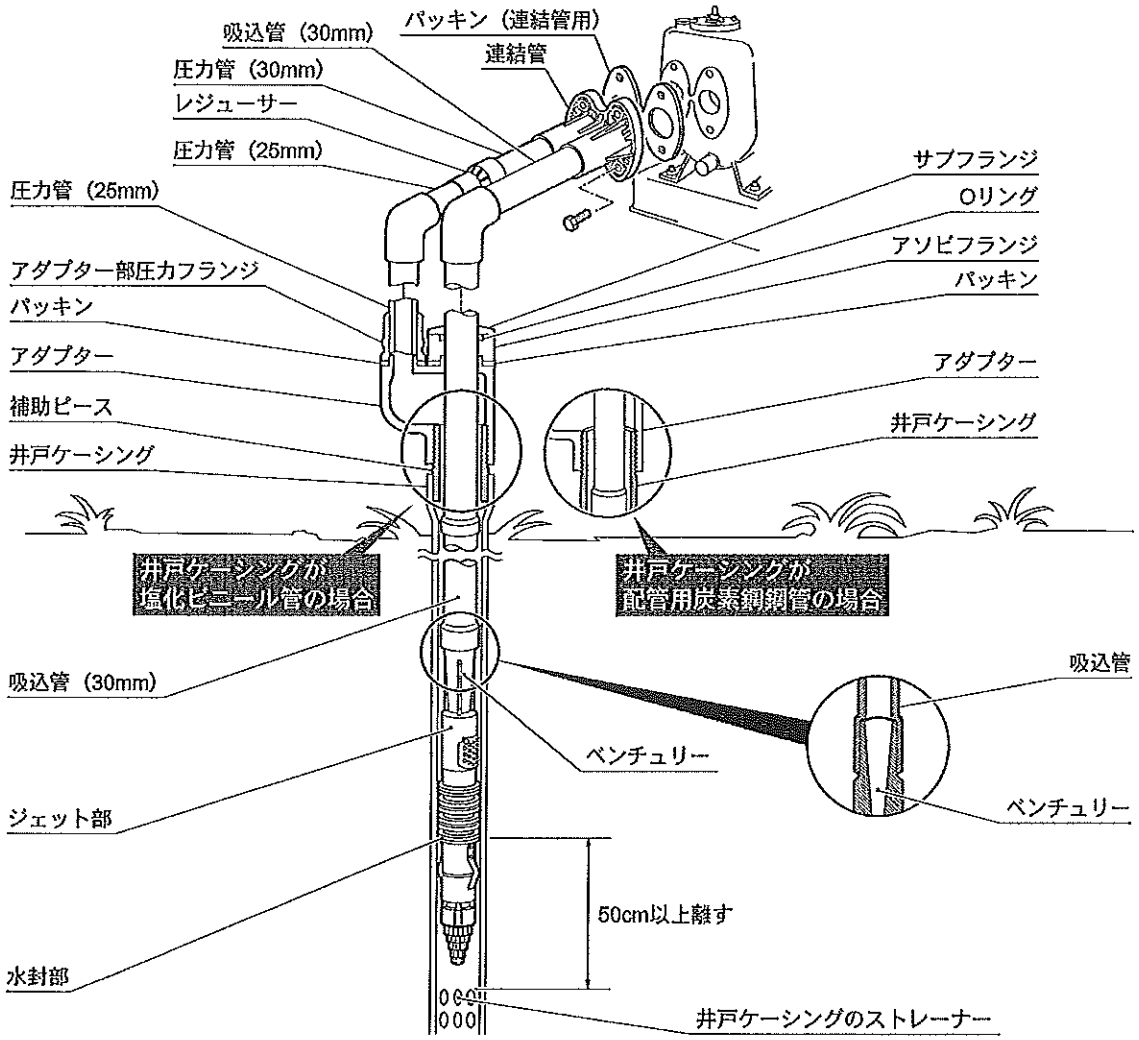
⚠注意

井戸ケーシング内壁にサビ、カエリ、ツブレ、曲がりがないことを確認してください。配管が井戸ケーシングに入らず使用不能の原因となります。

接続部には必ず接着剤を塗布してください。

禁止　市販のバルブソケットは使用しないでください。市販のバルブソケットで接続すると揚水量・圧力がでません。

据付・配管のしかた



1 補助ピースの取り付け

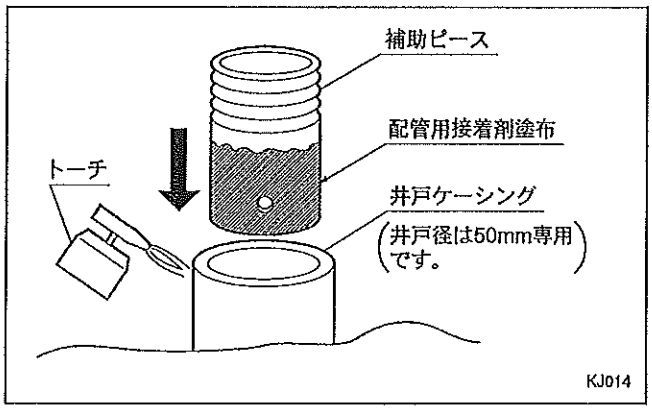
井戸ケーシングが塩化ビニール管の場合

1 トーチなどで井戸ケーシングをあぶり、柔らかくします。

2 補助ピースの挿入部分に接着剤を塗布し、井戸ケーシングが柔らかい内に押し込みます。

ご注意

補助ピースは、長さの2/3程度まで押し込んでください。

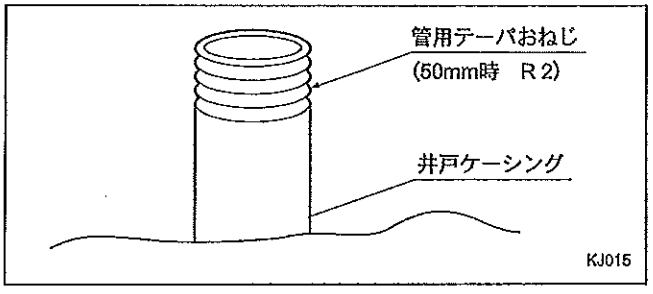


井戸ケーシングが配管用炭素鋼鋼管の場合

鋼管先端にアダプター接続用として、管用テーパおねじを形成してください。

ご注意

鋼管の場合は補助ピースを使用できません。



2 吸入管の形成

1 井戸ケーシング内部用の吸込管には、30mm水道用硬質塩化ビニール管を用います。

井戸の深さに応じた本数または必要な長さに切断したものを準備し、ジェット部から吸込管までの吸込管を作成します。

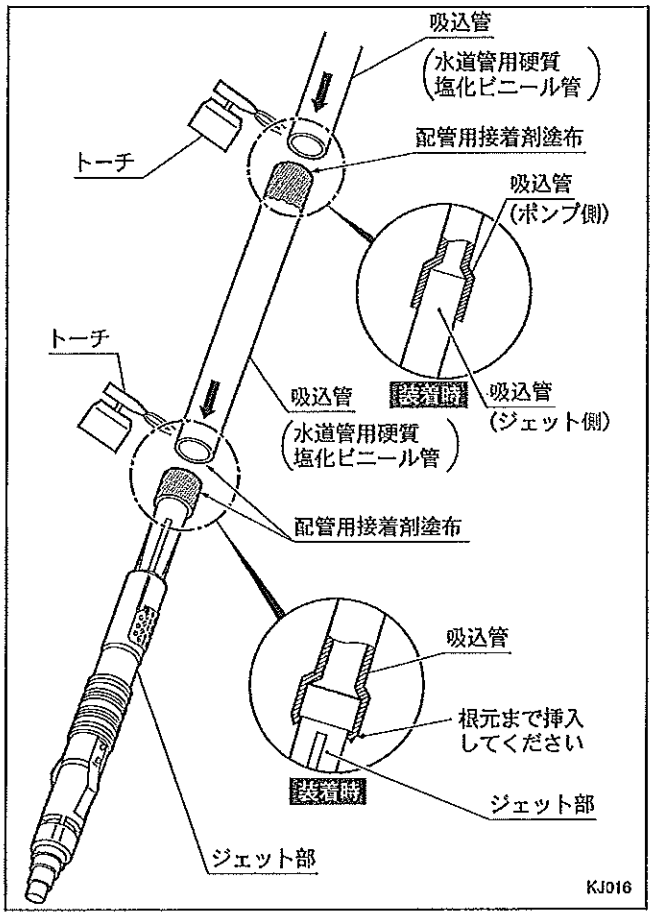
(ヒント)

据付場所や長さなどの制限から、必要な長さの吸込管を一度に形成できない場合は、挿入作業を行いながら吸込管を継ぎ足してください。

2 水道用硬質塩化ビニール管の接続部分をトーチなどであぶり柔らかくし、接着剤を塗布した相手接続部の上にかぶせます。

ご注意

接続部は、上側(ポンプ側)を柔らかくし、下側を差し込むように接続してください。
吸込管は熱間で接続してください。市販のソケットで接続しますと揚水量、圧力がでません。



3 ジェットの挿入

1 所定の深さまで、ジェット部を井戸ケーシングの中へ真直ぐに挿入します。

(ヒント)

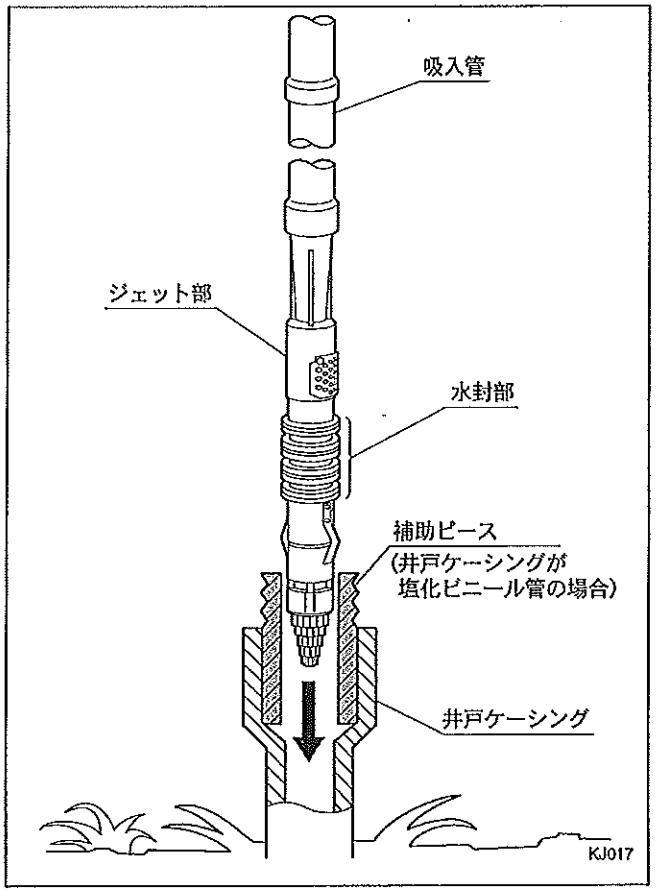
挿入前にジェット部および井戸ケーシングの内面を水で濡らしてから挿入すると、作業を容易に行うことができます。

ご注意

ジェット部挿入作業中は、吸入管は絶対に回さないでください。挿入時にジェット部を回転させてしまうと水封部が広がり、それ以上挿入できなくなります。

2 据付場所の制限などにより、必要な長さの吸込管を形成できていない場合は、挿入作業をしながら吸込管の継ぎ足し作業を行いますが、確実に接続されたことを確認してから、挿入作業を続けます。

3 ジェット部を所定位置まで挿入後、吸入管を時計回りにかたくなるまで回します。(10回転程度)
この作業でジェット部が井戸ケーシングに固定されるとともに、水封構造となります。



4 ポンプへの接続

1 補助ピースのねじ部にシールテープを数回巻きます。

ヒント

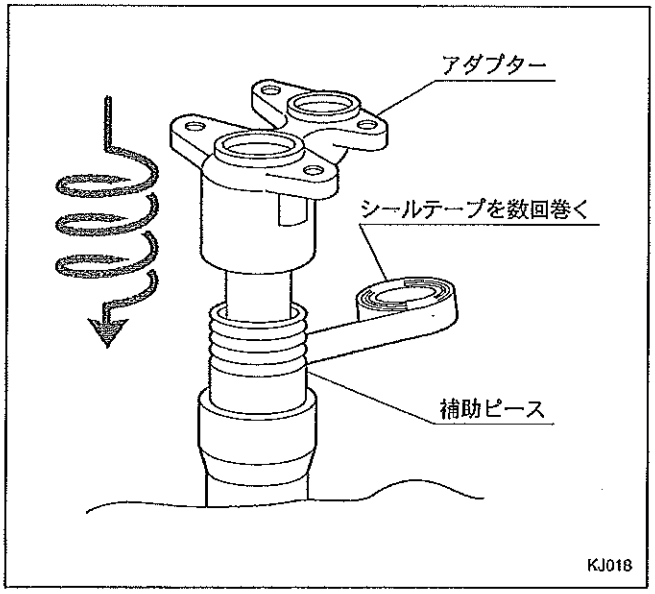
井戸ケーシングが配管用炭素鋼鋼管の場合には、補助ピースは必要ありません。鋼管のねじ部にシールテープを巻いてください。

2 アダプターからサブフランジ、Oリング、アソビフランジおよびパッキンを取り外します。

3 アダプターを補助ピースのねじ部にねじ込みます。

ヒント

アダプターの向きは、ポンプの吸込管と圧力管の向きと配管を考慮して決めてください。



4 アダプターから出ている吸入管に、取り外しておいた部品のパッキン、アソビフランジ、Oリング、サブフランジの順に挿入しておきます。

ヒント

サブフランジは、この段階ではアダプターに対してまだボルト固定をしないてください。

5 ポンプに付属されている連結管、パッキン、ボルトと市販の水道管用硬質塩化ビニール管、管継手を使用して、ポンプとアダプター部圧力フランジおよび吸込管を接続します。

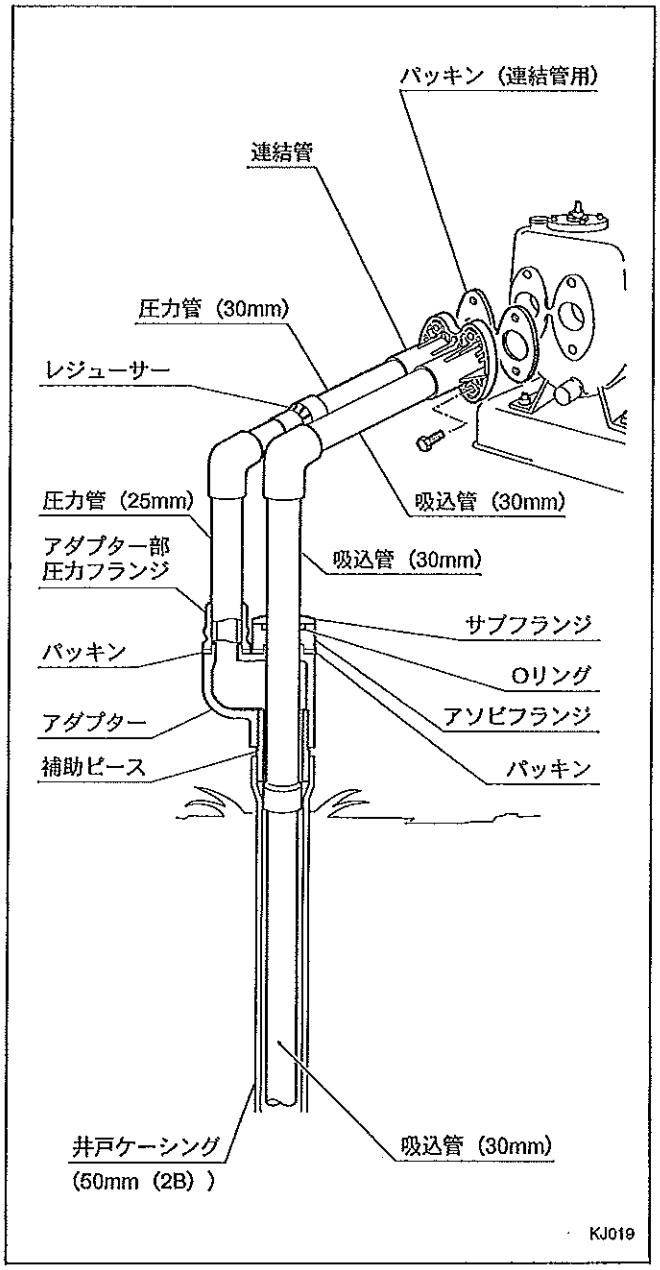
吸込管側管径（30mm）

圧力管側管径（25mm）

ご注意

ポンプ本体の圧力管側管径は30mmですので、レジューサー等で25mmに管径をサイズダウンしてからアダプター部圧力フランジと接続ください。

6 ポンプ本体側とアダプター側のフランジ部を、ボルトでしっかりと固定してください。



試運転

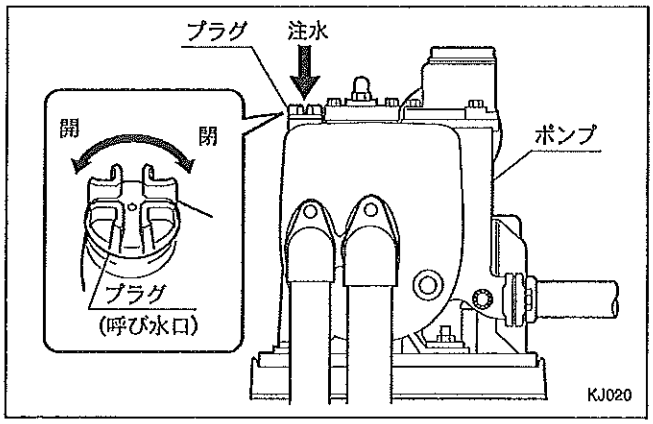
⚠注意

試運転での圧力調整後は、呼び水プラグをしっかり締めてください。自吸運転時に水が噴き出して、モータや電装箱などにかかると、感電や故障の原因になります。

1 試運転の準備

1 ポンプカバーを取り外します。

2 プラグを取り外し、呼び水が一杯になるまで注水します。

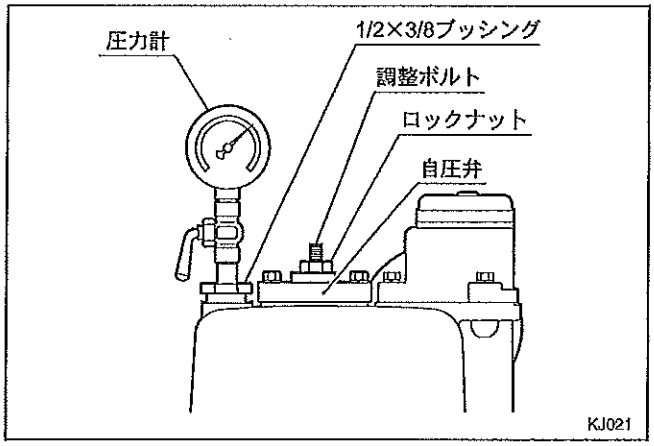


3 呼び水口に圧力計等を取り付けます。

ご注意

1/2×3/8ブッシング、ケージコック、圧力計等は、別途ご用意ください。

4 自在弁のロックナットをゆるめ、調整ボルトのキャップを外して調整ボルトがかたくなるまで締め込みます。



2 試運転

1 吐出し側の水栓を開きます。

2 電源を入れます。

・ポンプが異常なく回転するか確認してください。

ヒント

運転開始後1～2分で揚水します。

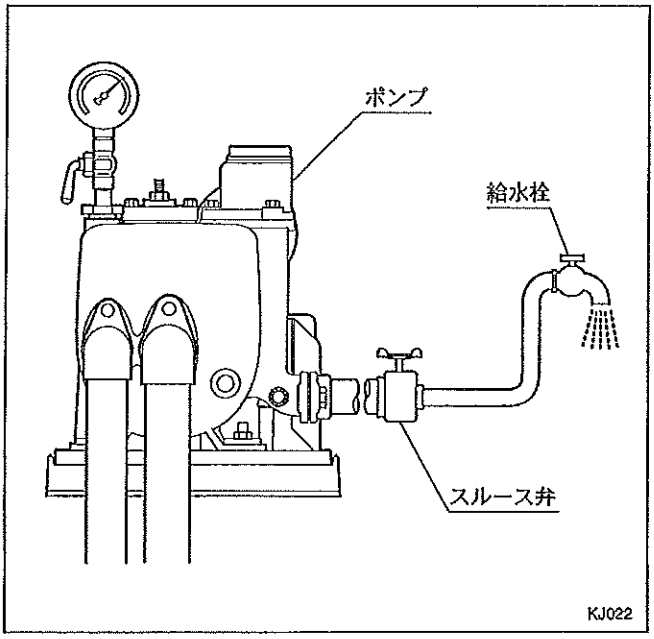
ご注意

数分しても揚水しない場合は、一旦電源を切り再び呼び水を補充してください。

・再度電源を入れて、確認してください。

3 揚水を始めたらしばらく水を出し続けます。

・砂の混入状況、配管の水漏れ、運転音に異常がないか確認します。



4 調整ボルトをゆるめ圧力を下表の圧力に調整します。

ポンプ名（出力）	JF250S（250 W）	JF400S/T（400 W）
ジェット部	KJ2-18S-25 形	KJ2-24S-40 形
吸い上げ高さ	6m ～ 18m	12m ～ 24m
自圧弁調整圧力	0.118MPa {1.2kgf/cm²}	0.167MPa {1.7kgf/cm²}

ご注意

運転水位が上表の吸い上げ高さより浅い場合は、その差分だけプラスした圧力に調整してください。

例: 運転水位6m、ポンプ出力400w、ジェット部KJ2-18S-25の場合は、
16+(18−6)=28　となり、自動弁調整圧力は0.28MPa(2.8kgf/cm²)となります。

5 ロックナットで調整ボルトを固定します。

6 調整ボルトのキャップを取付けます。

7 吐出し側の水栓を開閉し、ポンプが停止、始動することを確認します。

ヒント

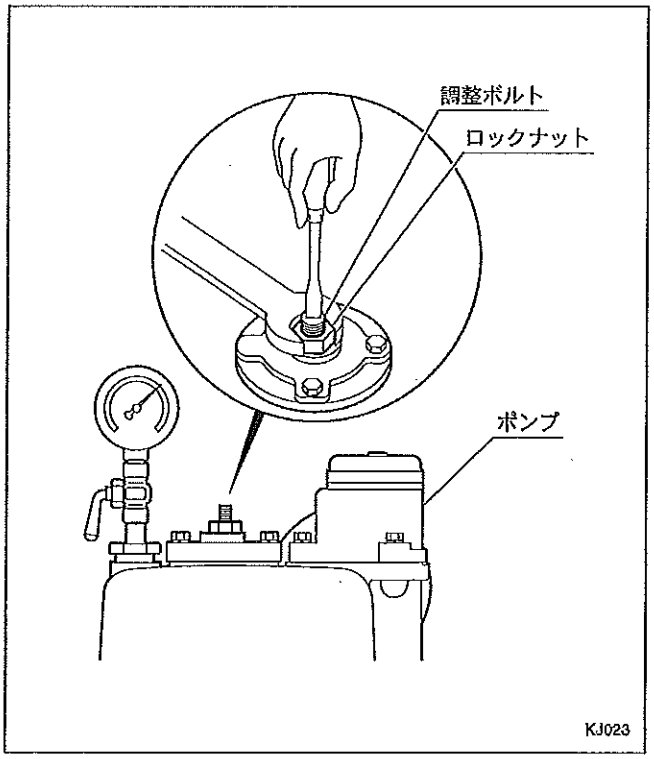
ポンプは、アキュムレータ内の圧力が調整した圧力より下がると運転を始めます。また使用水量が停止水量以下になると停止します。

8 電源を切り、圧力計等を取り外します。

ご注意

吐出し側の水栓を開き、ポンプ内の圧力を抜いてから取り外してください。
水が噴き出して、ポンプ故障の原因になります。

9 呼び水を一杯になるまで注水し、プラグをしっかり締めます。



3 通常運転の準備

- 試運転完了後、ポンプ、モータ、アキュムレータなどの水滴を乾いた布できれいに拭き取ってください。
- ポンプカバーを取り付けてください。

異常を発見した場合は、速やかに対処してください。
対処後も異常がある場合は、ご購入先もしくは弊社もよりの営業所にご連絡ください。

＊故障の原因が分からないときは、購入先もしくは弊社もよりの営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障（異常）の状況をお知らせください。
＊弊社営業所については、添付の「営業所一覧」をご参照ください。

株式会社 川本製作所
http://www.kawamoto.co.jp
本　　社　〒460-8650 名古屋市中区大須 4-11
TEL〈052〉251-7171 (代)
岡崎工場　〒444-8530 岡崎市橋目町御領田 1
TEL〈0564〉31-4191 (代)

検査合格証
株式会社 川本製作所　検査　検査課長